

旧村川別荘だより

142号



市民ガイド月例会が開催されました

あけましておめでとうございます。猛暑によるお休みや、竹灯籠のタペも風が強いなか行かうなど、大変な一年でしたが、ガイドのみなさんのおかげで無事、旧村川別荘の魅力をお伝えすることができました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

1月8日(火)に月例会を開催し、1月と2月分のシフトを調整しました。2月23日(土)～3月3日(日)のひなのまつり開催期間中は、二人シフト体制でお願いします！

川島町研修会を行いました

昨年12月20日(木)に、川島町研修会を行いましたので、その様子をご紹介します。

●遠山記念館



<遠山記念館玄関>

日興証券の創立者である遠山元一(げんいち)が幼少期に手放した生家を再興し母の住まいとしたもので、昭和8年から2年7カ月を費やして完成しました。昭和23年に母の美以(みい)が亡くなると、元一の接客に使用され、その後、邸宅の保存と元一が長年にわたって集めた美術品を広く一般公開することを目的とし、昭和43年に財団法人の認可を受け、昭和45年に開館しました。平成25年10月には公益財団法人の認可を受けています。また、平成30年には国指定重要文化財になりました。

長屋門、渡り廊下でつながる東棟、18畳の大

広間を中心とした中棟、茶室建築の意匠を取り込んだ西棟から構成される伝統的日本建築です。武家風と農家風なのは、格式を必要とした起業家としての顔と、もとは農家であったことが関係するようです。また、すべての部屋に外光が入るような構造になっています。



建物は建築された当初から増改築していないことが特徴ですが、東棟の居間の畳は縁が無く、一部は斜めになっているのは、川島町出身のアーティストによるもので、近代美術とのコラボレーションもしています。



<化粧室>

2階は基本的に一般公開されていませんが、今回は特別に許可をいただくことができました。

応接室の床の縁には寄せ木細工が施されているなど、一階とはまた違った趣向が施されていました。景色がきれいでしたね。



<2階から見た庭園>



<2階の様子>
左：フローリング



右：西棟の寝室

ガイドは学芸員の久保木さんにご案内いただきました。ありがとうございました。

●広徳寺



川島町にある国指定文化財のひとつである、大御堂の茅葺き屋根の葺き替えを見学させていただきました。覆屋をした内部も見学し、屋根の葺き替えを間近で見ることができました。



解説の様子



葺き替え中の屋根

一日の長時間研修、ありがとうございました。遠山記念館は1時間30分ほどの見学時間をとっていましたが、見どころがありすぎて、時間が足りませんでしたね。学芸員の久保木さんのお話も面白く、ガイドさんからの質問も答えてくださるなど、参考になる点が多かったと思います。

広徳寺の茅葺は、まだ、川島町民のみなさんにも公開していないそうです。我孫子市内にも茅葺のお家はまだあるので、今後のための勉強となりました。

連絡・意見交換など

●ひなのまつりのお知らせ

いよいよ、“ひなのまつり”の季節がやってきます。搬入を22日(金)9時30分から、撤収を3月4日(月)に行います。それに伴い3月の月例会を4日(月)に行います。撤収は月例会の後に行う予定ですので、ご都合がよろしければ、お手伝いいただけますと助かります(*^-^*)

次回の月例会は・・・

2月1日(金)に行います。寒い季節になり、風邪ひきさんやインフルエンザが流行してきました。ガイドさんはお客さまにお会いする機会が多いので、体調管理を大切にしてください!